

P 〔単元の目標〕

- ・ 来日予定の外国人に日本の文化や習慣を紹介するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

D 〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	単元の目標と単元のゴールとなるプレゼンテーションのテーマを生徒と共有する	A
②	生徒一人一人が作成したプレゼンテーションによる中間発表を位置付ける	B
③	中間発表から修正し、プレゼンテーションコンテストを行う	C

C 〔単元の目標の達成状況〕

- ・ 採点の基準(ルーブリック)を事前に提示し、生徒と共有することにより、生徒は具体的な到達目標を設定し、目標達成に向かって学習に取り組むことができた。
- ・ 中間発表で自己評価と相互評価を行ったことにより、意欲的に発表内容を工夫改善する生徒が増えた。

A 〔改善の方向性〕

- ・ 学習到達目標の達成状況を把握し、採点の基準(ルーブリック)による評価の妥当性と信頼性の観点から改善を図る必要がある。
- ・ まとまりのある内容を話すことができるよう、内容面の視点から指導する必要がある。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

①単元の目標と単元のゴールとなるプレゼンテーションのテーマを生徒と共有する

〔児童（生徒）の活動〕

- 「来日予定の外国人に日本の文化や習慣を紹介する」という単元のゴールとなるプレゼンテーションのテーマを確認する。
- 日本と外国の文化等についてペア及びグループで話し合い、異文化についての考えを深める。
- 採点の基準(ループリック)を確認する
- ゴールに向けた見通しをもち、個人の目標を立てる。

〔教師の指導〕

- 外国人から見た日本のイメージや外国人が知りたい日本について紹介する。
- 日本のアニメや温泉のマナー、日本のお土産などについて、外国人の視点に立ったモデル提示する。

I want to eat delicious food in Japan, but I don't know Japanese table manners. Also, I'm not good at using chopsticks.

I am interested in Japanese onsen, but I don't know onsen manners. I'm scared.

Watching Japanese anime is very fun! My American friends enjoy watching Kimetsu or ONE PIECE. Tell me popular Japanese anime.

【資料A】外国人から見た日本のイメージ例

- 採点の基準(ループリック)を示し、評価のポイントを伝える。

〔工夫点〕

- 必然性のある目的や場面、状況を設定することにより、生徒の意欲を引き出す。
- 具体的なモデルを示すことにより、見通しをもてるようにする。
- 1人1台端末を活用し、生徒の考えや意見を整理できるようにする。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②生徒一人一人が作成したプレゼンテーションによる中間発表を位置付ける

〔児童（生徒）の活動〕

- 発表に必要な言語材料を選択し、発表原稿とスライド資料を作成する。

※**have to** よりも強い表現、強制的、命令

You **must** wash your body before entering Onsen.
(温泉に入る前には、体を洗わなくてはならない)

【資料B】言語材料例

- 採点の基準（ルーブリック）を確認するとともに、互いの発表についてアドバイスし合う。

【アドバイス例】

- ・単語ごと聞こえるから文のまとまりを意識するともっといいと思う。
- ・発表内容を理解して発表しないと相手に伝わりづらい。

〔教師の指導〕

- まとまりのある内容を伝えるために、接続詞及び全体構成等を工夫させる。

【話題の順番・ナンバリング】

First, (まず一つ目に) Second, (二つ目に)
Third, (三つ目に) Finally, (最後に)

【資料B】言語材料例

- 中間発表前に、採点の基準（ルーブリック）を再確認させたり、生徒による相互評価をさせる。

〔工夫点〕

- 目的や場面、状況などに応じて、「何を話すといよいか」を判断するよう促す。

- 1人1台端末を活用し、評価内容を共有する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③中間発表から修正し、プレゼンテーションコンテストを行う

〔児童（生徒）の活動〕

- 中間発表における生徒同士の相互評価及び教師による評価を基に、発表内容について工夫改善を図る。

- 修正した内容をもとに、プレゼンテーションを行う。



【資料C】プレゼンテーションコンテスト

〔教師の指導〕

- 中間発表における生徒同士による相互評価及び教師による評価を新たな課題として捉えさせる。

【教師からのアドバイス】

・出だしの文章を考えましょう。スライドの切り替えが早く、話が流れていっている感じがします。緩急を付けるよう工夫しましょう。

- プレゼンテーションコンテストの結果を基に言語面・内容面から改善点等について指導する。
- ALTと連携を図り、異文化理解について理解を深めさせる。

〔工夫点〕

- 発表の様子を振り返ることができるよう、発表動画をクラウド上で共有する。

- 学習への意欲が向上するよう、生徒の実態に応じた具体的な改善点等を示す。
- ALTによるモデルを示すことにより、今後の学習に生かせるようにする。